

Aqua Nature  
アクアネイチャー  
-施工の手引き-

【初版】令和6年2月  
一般社団法人 WCG

## カラーチャート

- ネイチャーは、以下の標準色からお選びいただけます。



## 塗布する場所について

- 塗布する場所は、平滑かつ耐性があり、埃や油脂、付着の妨げとなる物質が含まれず、清潔にする必要があります。
- 塗装する場所が、タイルのような目地がある場合、凹凸が大きい場合は、不完全な部分を補修し、塗料を2回塗布する必要があります。

## 塗布できる場所の例

- セメント及び石膏
- 木材及び石膏ボード
- タイル、セラミック、磁器、大理石、御影石など

## 使用材料

材料	塗布量	乾燥時間(気温 20 度の 場合)	厚み
コンクリートベース (床 用)	1m <sup>2</sup> あたり 1kg	1 塗布あたり 4~6 時間	1mm
アクアベース (壁用)	1m <sup>2</sup> あたり 1kg	1 塗布あたり 4~6 時間	0.7~1m m
プライマー	10~14m <sup>2</sup> あたり 1kg	1 塗布あたり 30 分	
アクアネイチャー	1m <sup>2</sup> あたり 1~1.5kg	1 塗布あたり 4~6 時間	0.7mm
シーラー	7~10m <sup>2</sup> あたり 1ℓ	3 時間(完全防水は 7 日 間)	
クリア	1m <sup>2</sup> あたり 60~80g	3 時間	
		GLOSS (艶有) : 8~12 時間	
		SATIN (半艶) : 6~10 時間	
		MATT (艶消し) : 4~ 8 時間	

- ベース、プライマー、クリアは他製品でも同様の塗布量、乾燥時間となります。
- 塗布する支持体が 0.1 mm以上の目地がある場合 (陶器、磁器、大理石、タイル壁など) は、プライマーを塗布し接着力を高め、アクアベースをその上に塗布する必要があります。
- ベースの使用については、下地が0.1mm以上の凹凸がある場合に推奨されます。0.1mm以下の場合は使用を割愛できます。
- クリアについては、可能な限り薄く塗布することを推奨します。

## 施工道具

- 保護テープ
- ハサミまたはカッター
- サンダー
- 40～80 番台のサンドペーパー
- 120～240 番台のサンドペーパー
- ヘラ
- スチールコテ
- マイクロファイバーローラー
- ペインティングパン
- 電動ミキサー
- バキュームクリーナー
- 計量器またはデジタルスケール

## 使用方法

※ベースの使用については、下地が 0.1mm 以上の凹凸がある場合に推奨されません。0.1mm 以下の場合は使用を割愛できます。

1. 必要な場所に保護テープを貼ります。
2. ローラーを用いて、ファイバー製メッシュを表面にプライマーで張り付けていきます。  
—————ベース塗布（1層目）—————
3. ベースの容器を開封し、ヘラまたは塗料用ミキサーでペーストが完全に均質になるまでよく混ぜます。
4. アクアベース、またはコンクリートベースを塗布します。この際、厚さは最大 1mm を限度とします。塗布する際は、45 度に傾けたコテで一定の圧力をかけながら慎重に塗布してください。塗布回数は 2～3 回程度が目安で、必要に応じてご対応ください。
5. ベースが固まる前に保護テープをはがします。
6. ベースが完全に乾燥するのを待ちます。
7. 乾燥後に、ベースの表面の凹凸を、ヘラまたは 40～80 番のサンドペーパーで研磨します。研磨後は粉塵をよく落としてください。  
—————ベース塗布（2層目）—————
8. 必要な場所に保護テープを貼ります。
9. 再度、4 の手順でアクアベース、またはコンクリートベースを塗布します。
10. ベースが固まる前に保護テープをはがします。

11. 40～80 番のサンドペーパーで、2 層目の表面を研磨します。  
研磨後は、締めらせた布や掃除機で粉塵をよく落としてください。
12. 必要な場所に保護テープを貼ります。
13. ローラーを用いて、ファイバー製メッシュを表面にプライマーで張り付けていきます。

—————**アクアネイチャー塗布 (1 層目)**—————

14. 容器を開封し、ヘラまたは塗料用ミキサーでペーストが完全に均質になるまでよく混ぜます。
15. アクアネイチャーを塗布していきます。この際、厚さは1mmを限度とします。塗布する際は、45 度に傾けたコテで一定の圧力をかけながら慎重に塗布してください。
16. 保護テープをはがし、アクアネイチャーの塗布1層目が完全に乾燥するのを待ちます。
17. 乾燥後に、アクアネイチャーの表面の凹凸を、120 番～240 番のサンドペーパーを用いて研磨します。

研磨後は、締めらせた布や掃除機で粉塵をよく落としてください。

—————**アクアネイチャー塗布 (2 層目)**—————

18. グラスファイバー製メッシュとタイルの目地が完全にカバーされている場合は、アクアネイチャーの 2 層目の塗布は割愛することができます。カバーされていない場合は 19 以降の手順で進めてください。
19. 必要な場所に保護テープを貼ります。
20. 15～17 同様の手順で塗布していきます。

—————**ネイチャー塗布**—————

21. 容器を開封し、ヘラまたは塗料用ミキサーでペーストが完全に均質になるまでよく混ぜます。
22. ネイチャーを 0.7mm の薄い層で塗布し、コテで軽く押さえながら 1.5～2m<sup>2</sup> までの表層を覆う。この際、1mm 以上の厚さにはしないでください。
23. 1 層目を塗った直後、乾燥を待たずに 2 層目の塗布をしてください。
24. 最後の層を塗布する際は、滑らかな仕上げにするために、わずかに水を噴霧してください。

※1 層目と 2 層目の結合により、最終的には 1.5mm の厚みとなります。

25. 乾燥後に、ネイチャーの表面の凹凸を、120～240 番のサンドペーパーを用いて研磨します。

研磨後は、締めらせた布で埃を取り除かないようにしてください。

—————**シーラー塗布**—————

26. 必要な場所に保護テープを貼ります。
27. ペインティングパンにシーラーを入れ、短毛ローラー、またはマイクロファイバーローラーで均一に塗布します。
28. 保護テープをはがし、シーラーの塗布が乾燥するのを待ちます。

-----クリア塗布（1層目）-----

29. 必要な場所に保護テープを貼ります。
30. マイクロファイバーローラーを使用し、クリアを塗布します。
31. 保護テープをはがし、クリアの塗布が乾燥するのを待ちます。

-----クリア塗布（2層目）-----

32. 25～27 同様の作業で、2層目のクリアを塗布します。

ご不明な点は、公式HPよりお問い合わせください。

以上